

ILC戦略会議 報告

1. ILC戦略会議 これまでの流れ
2. 国内でのILC実現へ向けた推進状況の現状、昨今の主な事項
3. 様々な課題、観点、sub-working-groups活動

4. 戦略会議での喫緊の課題
5. 海外(主に欧州)からの観点
6. 各界との連携での課題と方向性
(全体シナリオ策定に向けて)

平成24年8月30日 LC推進委員会にて
山下 了

「ILC戦略会議」

委員(五十音順) 相原博昭(東大/IPMU)、後田裕(KEK)、生出勝宣(KEK:加速器施設長)、川越清以(九大)、駒宮幸男(東大:高エネルギー委員長)、中家剛(京大)、村山齊(東大/IPMU/Berkley)、森俊則(東大:将来計画委員長)、山下了(東大:chair)、山本明(KEK:LC推進室長)、山本均(東北大)
Ex-officio: 鈴木厚人(機構長)、岡田安弘(理事)、山内正則(素核研所長)

3月 将来計画小委員会 提言承認／公開

5月 高エネルギー委員会にて「LC戦略会議(仮称)」の設置

第1回:6月11日(月) 主旨説明／議長／会議名称／国内外状況／様々な課題の洗い出し

第2回:7月19日(月) 欧州戦略会議(中田氏)／加速器のコアチーム／サブWGの設置・立ち上げ

第3回:8月 2日(木) 物理／測定器／KEKロードマップ状況

次回

第4回:8月30日(木)、31日(金)

シナリオ(原案)の議論・中間とりまとめ(日本からの提案主旨)

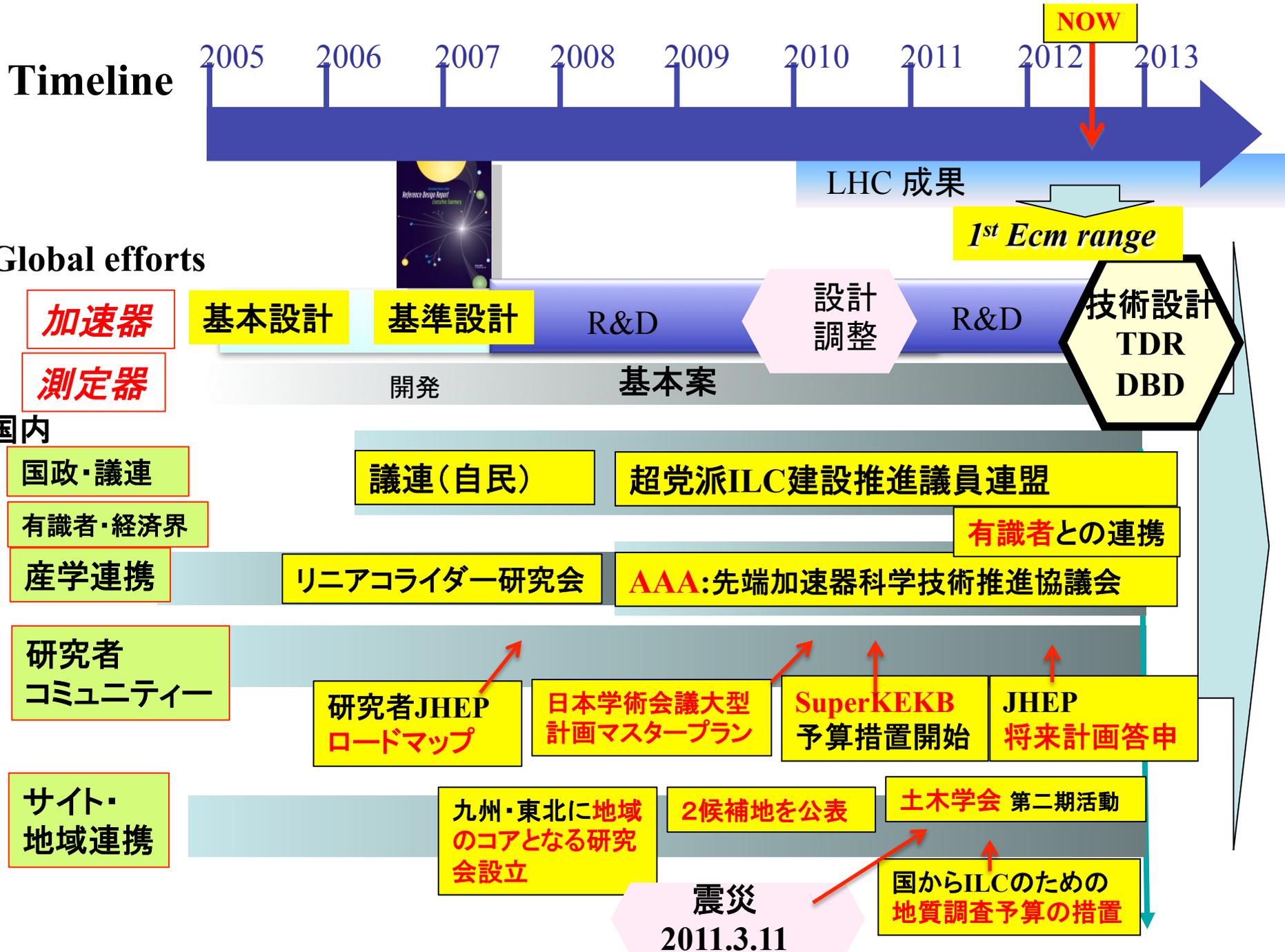
ワーキンググループ報告、立地条件の議論、日本学会関係

9月の主要関連

- (進行中) KEK次期ロードマップ
- 9月10日～ 欧州戦略シンポジウム(クラコウ)
- 9月12日～ 日本物理学会「ヒッグスとコライダー」シンポ、JHEP総会

第5回 9月中下旬

10月～ オールジャパンの体制づくりに向けて



昨年秋から本日までの主要な進展

- 国から地質調査予算・海外動向調査予算(昨年12月) → KEK
- 高エネルギー物理学・将来計画答申(今年3月)
- 地元大学・自治体の連携推進母体(2地域)からビジョン・エリア構想
- 日本創成会議・経済同友会・産業界からの応援／連携
→ 新しい流れ
- 7月：LHCでILCシナリオの真ん中に
ヒッグスのような粒子の発見！

(第一回議論の内容より) 主な重要課題項目

- **プロジェクトの明確化**
 - TDR (今年末) とR&D計画の明確化
 - 物理、エネルギー、コスト
 - タイムスケール、国際組織シェアモデル → 日本からの提案
- **海外動向調査**
 - 欧州戦略、米国動向、アジアの状況、海外からの協力の可能性に関して
- **大学・研究所等の間での連携**
 - 大学間コンソーシアムの可能性、大学セミナーシリーズ、学内シンポジウム
- **民間・有識者との連携**
- **国内立地課題・候補地**
- **理解促進**
 - 国内他分野・近隣分野、社会への理解促進、広報・マスメディア対応
- **省庁関係、学術会議 (大型計画ロードマップ等)**
- **加速器のこれからの人材育成、コアとなる人材・意識づくり**
- **2013年以降の国際チーム組織**
- **準備予算：加速器振興施策、開発予算、WPI等の競争的資金**

Sub-Working Groups

(第二回戦略会議にて設置)

- 物理パンフレット作成 (山本均*(東北)、藤井恵(KEK)、他)
- 広報/Web(高橋理佳*(KEK)、他)
- 立地条件項目(高橋徹*(広大)、
佐貫(東北)、川越(九州)、山下、LC推進室(宮原、榎本、他)、AAA 等)
- 大学連携(田辺(東大)、石川*(東北)、吉岡(九州)、他)
- 物理・加速器連携(大森*(KEK)、末原(東大))

戦略会議 第1の課題

1。日本からの案（第一案）の定義の明確化

- 初期エネルギー（500GeV, ~350GeV, ~250GeV）
- 国際シェアモデル（ホスト／海外）
- タイムライン素案（目標とする実験開始の時期）

→ 戦略会議（8 / 30、31）で第一案とりまとめ予定

→ 日本のHEPコミュニティからの提案の
明確化（12月末のTDR完成まで）

2。学／産／有識者の連携

- 全体シナリオへ向けた準備
 - ILC戦略会議（学）
 - AAA先端加速器協議会（産学）
 - 日本創成会議、経済界等の有識者（社会・民間・官）

→ 10月をめどに各所と連携してとりまとめ

→ 12月末をめどに連携体制づくり



Some comments on the European Strategy Update Process

<https://europeanstrategygroup.web.cern.ch/EuropeanStrategyGroup/>

LC meeting at KEK

Tsukuba, Japan, 19 July 2012

T. Nakada

EPFL-LPHE

Lausanne, Switzerland

Scientific Secretary for Strategy Session of CERN Council



T. Nakada



Japanese LC Discussion at KEK, Tsukuba, 19 July 2012 European Strategy

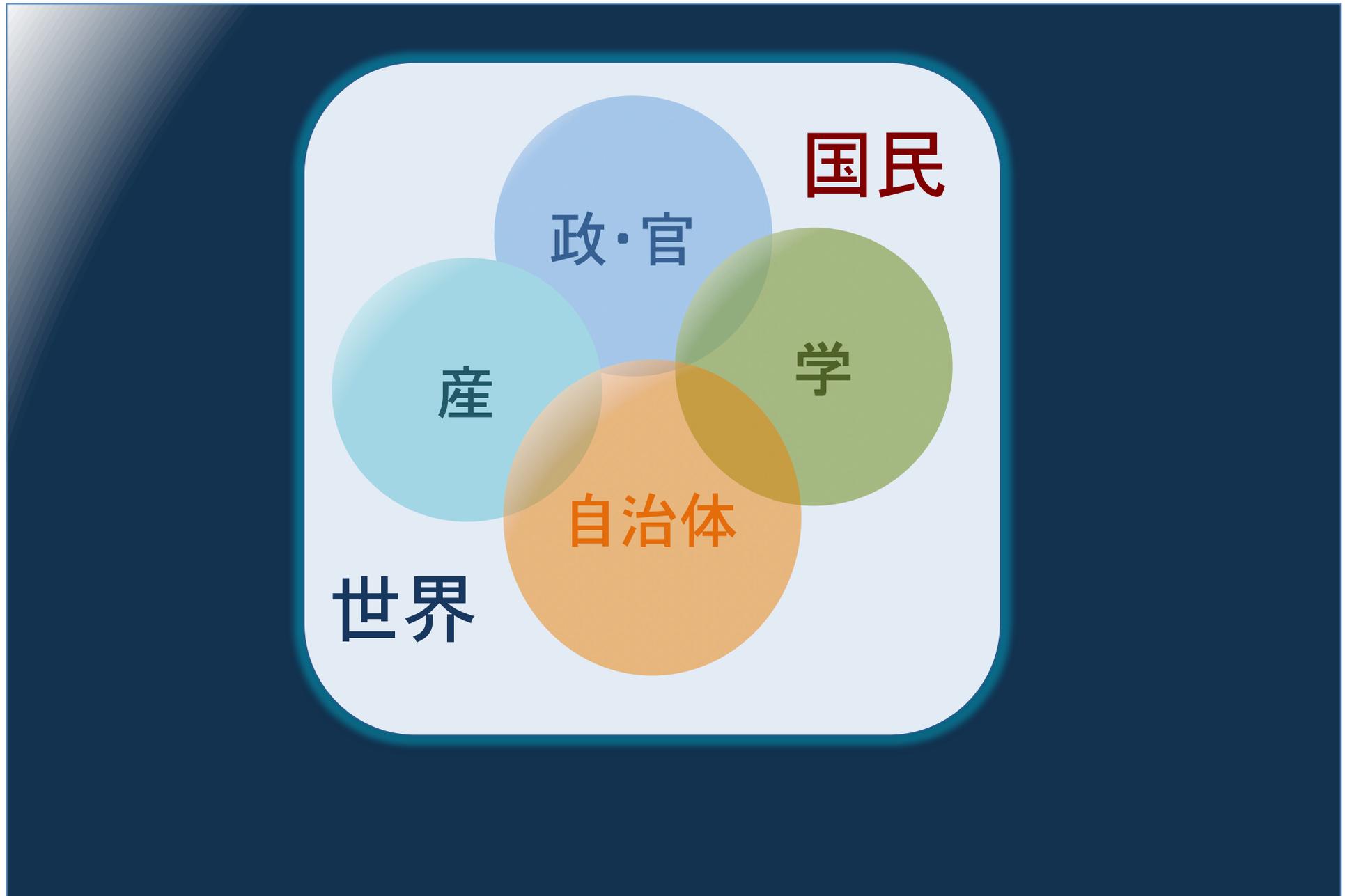
Questions being addressed in parallel

- How should Europe organise itself to participate in a “global” project outside of Europe?
- How “CERN” should interact with other European scientific organizations and agencies?
- How should further promote particle physics and accelerator science to public, industries, and policy makers?

Concerning the Japanese LC initiative

- What is the baseline scope?
 - Fast realisation of starting with ~ 250 GeV?
 - Up to $t\bar{t}$ from the beginning?
 - Already 500 GeV from the beginning?
(NB: LHC was approved to start with less number of magnets first)
- What is the baseline framework?
 - Full global project: 50% host 50% elsewhere including cash contribution?
 - Full global project with larger host country contribution?
 - A la HERA & LHC, i.e. very strong host laboratory with some “work packages” contributions? (KEK as the host laboratory?)
- What is the baseline for timescale?
 - data taking starts $\lesssim 2025$ (significant overlap with LHC)?
 - data taking starts $\gtrsim 2030$ (no real overlap with LHC)?

必須条件 社会との連携、世界との連携



民・学・公の連携での最重点課題

- 国内一本化への道筋
 - 立地条件の明確化
 - プロセスの設定
 - 科学的評価／関係者の納得
 - 社会経済的評価
 - 政策的評価
- オールジャパンの体制への準備
 - 学／有識者
 - 民間／経済界／産業界
 - 国政
- 国の政策への位置づけへ向けて
 - 加速器科学・技術の国政での重点化
 - ILCの位置づけ

(再掲)戦略会議 今後の主要な流れ

1。日本からの案（第一案）の定義の明確化

- 初期エネルギー (500GeV, ~350GeV, ~250GeV)
- 国際シェアモデル (ホスト / 海外)
- タイムライン素案 (目標とする実験開始の時期)

→ 戦略会議 (8 / 30、31) で第一案とりまとめ予定

→ 日本のHEPコミュニティからの提案の
明確化 (12月末のTDR完成まで)

2。学 / 産 / 有識者の連携

- 全体シナリオへ向けた準備
 - ILC戦略会議 (学)
 - AAA先端加速器協議会 (産学)
 - 日本創成会議、経済界等の有識者 (社会・民間・官)

→ 10月をめどに各所と連携してとりまとめ

→ 12月末をめどに連携体制づくり